

---

◎一般質問

○議長（渡辺文彦君） 日程第1、昨日に引き続き一般質問を行います。

質問の通告がありますので、発言を許します。

---

◇ 深 澤 守 君

○議長（渡辺文彦君） 通告順位6番、深澤 守君。

（5番 深澤 守君 登壇）

○5番（深澤 守君） おはようございます。

通告に従いまして、一般質問を壇上よりさせていただきます。

1 任期満了にあたり、これまでの長嶋町政について12月の町長の任期満了にあたり、これまでの3年9ヶ月あまりの長嶋町政について伺います。

①町長の3つの約束と3つの政策について、達成状況はどのようになっていますか。

また、来期に引き継ぐ課題はどのようなことだと思われませんか。

②町長の不信任決議、度重なる予算の修正、条例の可否等、町長の行政を進めていく上でのルールや、議会の意見を無視した独善的な町政運営にあったと思います。そのことについて、町長の見解を伺います。

③町長は、6月定例会の一般質問の回答で、担当が具体的な計画を立てて実践し不都合があったら、問題解決にトップが出ていくというような構造が一番望ましいという趣旨の回答であったが、今でもその考えに変わり変わりはありませんか。

以上、壇上より質問させていただきました。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） 深澤議員の質問に答えます。

大きな一つとして、任期満了にあたりこれまでの長嶋町政はどうであったかということでございます。そのうちの一つ、町長の3つの約束と3つの政策について、達成状況それから来季引き継ぐ課題はどのようなことかということでございます。お答えします。

私は、町民が地域に愛着を持って暮らしやすいと思える環境整備をすることが何よりも大切と考え、町民満足度の高いまちづくりを目指して取り込んで参りました。

そのために、農林水産加工業の一体推進による経済活性化、災害に強いまちづくり、医療福祉の充実の3つの基本理念を掲げ、毎年度の予算編成方針においてこれらを重点に事業を

実施してきたところでございます。

また、選挙公約で挙げた3つの約束につきましては、町長就任以来自らの給料を半分にするとともに、買い物など不自由な人に対する買物等支援タクシー制度の創設や順天堂静岡病院への直通バスの実証運行を実施してまいりました。

一方で、道の駅パーク構想に基づく花の三聖苑直売所整備や、岩科診療所の開設等まだ道半ばの事業がありますので、町民や議会の皆様に丁寧に説明し進めてまいりたいと考えております。

二つ目は、町長は不信任決議、重要な予算の修正、条例の否決等町長の行政を進めていく上で、ルールや議会の意思を無視した独善的な町政運営があったと思うがどうかということでございます。

田中議員のご質問にもお答えしましたが、私は、町長就任以来、町民満足度の高い町を目指して町のため、町民のためになる政策の実現に向けて議案を提出させていただいているところでございます。ご指摘の独善的な町政運営では、政策を実現することが困難であり、予算が議会で可決されなければ事業が執行できないことから明らかであります。

また行政には、法律に基づきかつ法律に違反してはならないという法律による行政の原理があり、法律を逸脱した行為は決して行っておらず、議会に対しましても全員協議会等で丁寧な説明を行い理解を求めてまいりました。議会と意思疎通を図ることにつきましては、十分心がけできたことであり、独善的な町政運営であったとは思っておりません。

三つ目の質問です。町長は、担当が具体的な計画を立て実践し不都合があったら、問題解決にトップが出て行くというような構造が一番望ましいと発言したけれども、その考えに変わりはないかということでございます。

政策を企画実行していくためには、職員の協力は欠かせませんので、今後も意思疎通を十分に図りながら行政運営を進めてまいりたいと思います。当然私は、政策決定には対応しますが、町長が1人で何から何までできるわけではありませんので、決定したことについて課長を中心に担当課で責任を持って実施していただき、問題が発生した場合には、改めて担当課と改善方法について協議をして進めております。私の考えの一つとして、100%の完璧な計画を立てなくてもある程度の段階でスピード感を持って実行し、走りながら改善をしていくというスタンスに変わりはありません。

以上で質問にお答えしました。

○5番（深澤 守君） 一問一答でお願いします。

○議長（渡辺文彦君） 許可します。

○5番（深澤 守君） まず、町長の大きな農業と観光の一体推進という政策の中で、道の駅という大きなプランがあったと思います。昨日の議員の回答の中で、直売所の計画は持っているという話をされておりましたが、概略というか、具体的というか、このような方針のようなものが回答として示されておられませんので、今現在でもいいので、概要等の計画が・・・町長の思う計画がありましたら答えていただきたいと思いますが。

○町長（長嶋精一君） 予期しないコロナということがございまして、私はこの松崎町について大づかみに考えることは、今の観光というだけでは駄目ではないかと真剣に考えました。東京からお客さんが来なくなると、もう全然収入がなくなってしまうという。これは非常にいけないことだということで、やはり我が町は、もの作りというものが必要ではないかということを考えてわけです。もの作りといっても、自動車を作るだとか、テレビを作るということじゃなくてですね、やはり農林水産業それを一つ一つやっていくべきじゃないかということコロナでもって考えたわけですけども、計画立てたのは・・・、深澤議員がおっしゃる計画はその前の町長になるときですから、私は農林水産観光業の一体推進というのは間違っていないんじゃないかというふうに考えております。

農業についても非常にそのポテンシャルの高い方はおられます。そして今若い方もですね、ポンカンジュースを作ったり、あるいは、新たなブランドの野菜を作ろうとしたり、あるいは土作りに非常に熱心な名人もおられます。こういった方を総動員して、農業の方をやっていければなと思います。そして、作ったものをやはり販売できる6次産業というですかね、直売場があれば、そこでもって高齢者の方も売って・・・自分の作品を売ってお金をもらえるというのは、お年寄りになってもお金が入るということは喜びなんですね。そういう意味で、道の駅直売所は作りたかったと思ってます。

しかし残念ながら、賛成していただけなかったもんですから・・・、私どもとしてはやっぱりこれから本当に・・・、振り返ると昨日もお話したとおり、真剣に毎日毎日議論・・・話し合いをしたんですけども賛成できなかったもん・・・していただけなかったもんですからもう一度ですね、もう一度その新たにですね、コンセプトはそう変えずにいろんな方と相談をし、農業生産者、あるいは議員の方々真剣に話をしながら進めて参りたい。それじゃやっぱり、相当・・・相当というか時間がかかります。端折ってやるということはしないつもりです。やっぱり優先順位をつけて、やっていきたいなど・・・。その間、道の駅直売所じゃないですけども、農業の方は農業とか林業とかそういったものについては、町として応援できること

は大いにしていきたいなとこういうふうに思っています。

以上です。

○5番（深澤 守君） 今の回答ですと、前回出してきたプランとはまた別のプランを出すという見解でよろしいですか。

それとですね、今町長がもの作りと言いましたけど、私は直売所の計画が出たときに、以前から加工場を作ってほしいですという要望も出してあります。ある・・よく町長が行かれる人のところに行けば・・、行ったら・・行ったときに聞いたときにはですね、いろいろ町長に提案してるけど、なかなか町長が実践してくれないということも聞いております。そして、それをやるにしてもいきなり直売所ではなくて、今ある農協さんですとか、そういうところに売っていくということも可能なわけで、やはり直売所を作るときには、それなりの助走期間というのが必要ではないかと思えます。やっぱりそこんところを進めていかなければ、決して直売所は成功しないんじゃないか。そしてやはり、独自の直売所じゃなくて、いろいろなところの参考例、もしくは成功してる人の意見を聞き、コンサルタントを入れ、しっかりとした事業計画のもとに直売所を作るということを、何年かかけてやっていくことが必要ではないかというふうに思っておりますが、町長いかがでしょうか。

○町長（長嶋精一君） 今までのやり方と違うものを作るという事もあるし、変えていかなきゃならないなということもあります。ただ、その根っこにある部分はね、変えてはならないものがあるわけでございまして・・。それは観光客さんが主体にね、来てもらうということもあるんですけれども、やはりこの松崎町それから西伊豆町、南伊豆町、下田市の方々が日常的に買いに来てくださると、いうそのような直売所であつたらいいなと思うんですね。地元の人が買いに来るということであれば、必ず観光客さんは来てくれる。それが逆だと、私はなかなか難しいなと思えます。

そして、深澤議員がおっしゃったような加工場でございますが、確かにおっしゃいましたね。だから、その中には加工場・・、加工場に近いものを作ろうというような計画もございました。しかし今まだ確定してしておりませんが、今後についてはしっかりと煮詰めて参りたいなと・・。やっぱり時間をかけてっていうことは、おっしゃる通りで、しっかり助走期間が大事であるということも全くそのとおりであります。したがって、それなりの期間を設けまして進めていきたいと思えます。またその時には、いろんなアドバイスをお願いしたいなというふうに思えます。

○5番（深澤 守君） 桜葉の件についてお伺いいたします。

桜葉のほ場は、現在3.8haヘクタールと昨日回答がありました。ちょっと年代的な比較を忘れて・・聞き忘れたんですが、12ha減少したという回答だったんですが、であって昨年採算が合わないという言う理由で、ほ場の閉鎖があったということを伺いました。

町長は桜葉の再生を公約にしているが、衰退に歯止めがかかっていないのはなぜでしょうかお答えください。

○町長（長嶋精一君） 桜葉が衰退している理由は、町が役場が怠慢であったから衰退してるというふうには全く考えておりません。これ民間企業が、それぞれやってるわけでありまして、町はそれをサポートしたいというふうに考えております。どこでもそうですね。どこでもどこの町でもそうです。

それで衰退っていうか、表面上は減ってるわけですから衰退ということになるのかもしれませんが、ただこのコロナ禍においても、桜葉の需要というのは衰えておらないんですね。したがって、一番の問題の根幹は担い手不足なんです。高齢化と担い手不足。これをどうしていくかっていうことが、最大の課題でございまして、それについてあくまでも民間企業がやるわけですから、我々はサポートすると・・。こうやったらどうですかということ。我々はコンサルタントではございませぬので、なかなかすごい難しいんですけども、ただ考えておるのは、人手について・・、昨日お話をしました、東部支援学校の生徒さんたちにもやっていただいていると。いろんな方にもやっていただいているんですけども、引きこもってる方にもぜひ出てきていただいて、桜葉が生産担い手になっていただくということ。を・・農福連携じゃないんですけども、それをやることによって親御さんは安心をするではないかという意味もあります。

したがって、やっぱり担い手不足というのが第一の課題であります。

以上です。

○5番（深澤 守君） 今町長が回答の中で、担い手不足という話をしておりました。その前に町長は「桜葉やるとクラウン買えるよ。」すげ一金儲けで・・、話をしました。お金儲けができる産業に対して、なぜ人手不足が発生するんでしょうか。なぜ新規参入がして来ないんでしょうか。僕、ある人に聞きましたら、1時間に10束しかできないっていう・・時給350円ですよ。やりますか町長。今その他の企業でパートで働けば最低1時間870円、約900円。高いところで1,000円もらう時代に、1時間350円でやりますか。結局そのところが解決できなく、需要あるって言いますが、今需要のあるのはまるけた部分が需要が多いわけですよ。その部分を解消しなければ、これ人手不足っていうのは、決して解消されない。生産

は・・・、桜葉は生産されるけど、まるけた部分の製品が出来なければ何も意味がない。その部分で町長は、就任当時『私が銀行時代のつてを使って、桜葉の選別をする機械を開発したい』ということをおっしゃっていましたがその話ってどうなりましたか。

お答えください。

○町長（長嶋精一君） 深澤議員の方、言い方はこの・・・桜葉がこういう状況になったのがいかにも私の責任みたいに言いますけれども、皆さんどう思いますか。あのですね、まず・・・  
(○5番（深澤 守君） 町長、今・・・議長おかしい。)

いやまず言いたいことは、町長になってから私が銀行時代に知ってるところの機械を導入すると。それは間違いでありまして、あの議員のときに・・・、議員のときにね、そういう業者が来て私が主導したわけじゃありません。来てですね、それを試作みたいなことやったことがございます。町長になってからは、一切ございません。なかなか選別したりする機械がですね、もともとからあったんですね。それが非常に・・・実際的には使えないというのが、もう議員のときに発覚しましてそれから進んでおりません。

ちょっと何でしたか、もう一つは・・・

(○5番（深澤 守君） それで結構です。)

それでいいですか。

○5番（深澤 守君） 町長、我々が何か言ったときにそうやって突っかかるのをやめていただけませんか。別に『町長が就任したから少なくなった』つつってるわけじゃなくて、『伝統的に少なくなってきたから、そのあれは何ですか』って聞いているわけです。ましてや、聞いているわけですよ・・・。決して町長がね、施策が悪いから・・・悪いのもあるでしょうけど、言ってるわけじゃないからやめていただけますかそういう発言。そういうことをやるから、多分議会との仲がギクシャクしてうまくいかないっていう部分もありますので・・・、

(○町長（長嶋精一君） どっちもどっちだね)

はい、認めます。

(○議長（渡辺文彦君） 深澤君、質問の方に・・・)

はい。

他にさせていただきますけど。桜葉振興ということで、町長ずっと3年6ヶ月あまりやってたんですけど、売上目標が8億、10億っていう話をしてますね。最盛期の値段に戻したいっていう話をしてるんですけど、先日の回答ですと、桜葉予算が80万ぐらいしかない。8億、10億

売りたい、振興したいっていう中で、予算が80万円しかないっていう・・・考えると、これ本気で振興しようっていう、町長の本気度っていうのが見えてこないんですけど、ちょっといかがでしょうか。

○産業建設課長（新田徳彦君） 桜葉の予算につきましては、昨日も申し上げましたけれども、補助金ですとか新農薬の登録の関係、あと指導者謝礼っていうのも払っていただいて・・・100万円弱の金額であろうかと思えます。ただ、支援につきましてはですね、関係者からの要望なんかに基づいて、いろいろ要望している状況でございます。

ですので必ずしも予算が多いからっていうことではなくてですね、現場の声を聞きながら、我々の方が予算をつけておりますので、その辺はご理解いただきたいと思えます。

○5番（深澤 守君） それでは次、順天堂の直通バスについて町長にお伺いしたいんですが・・・。現在東海バスさん、松崎発6時15分長岡8時5分、帰り長岡13時43分松崎15時6分の快速バスを走らせております。この時間帯、ほぼ下賀茂から長岡～順天堂病院の直通バスの時間帯・・・だいたい似たり寄ったりの時間帯で運行してるんですけど、この東海バスさんが走らせてる快速バスを寿乗車券ですか・・・、バスの割引券等、松崎が発行しておりますが、それと組み合わせて順天堂に行ってもらえるような形の検討するっていうことはございますか。

○健康福祉課長（糸川成人君） 寿乗車券と組み合わせをして、順天堂の直通バスを運行したらどうかということでございますけども・・・

（○5番（深澤 守君） 快速バスを利用して貰って、行って貰うにはどうするかって）

利用されている方につきましては、ちょっと、正確に調べたわけではないんですけども、500円で1,300円の回数券が買えるというようなとても有利なものになっておりますので、そういうものを利用しているのではないかなということ・・・、想像ですけども、そういうことになってるかと思えます。

○5番（深澤 守君） このバスを使っただけならば、わざわざ直通バスを補助金を出してやる必要はないという・・・考えましたが、町長いかがでしょうか。

○総務課長（高橋良延君） 直通バスの関係は、私も関わっていたもんですから、当初直通バスのっていうのは、乗り換えなしでいける。そういった病院の利用者の利便性が図られるということが大きな目的の一つでありました。なもんですから今の形態だと、修善寺に行ってそこから電車に乗り換えて伊豆長岡に行ってそこからまたバスで順天堂病院に行くという非常に2回3回乗り換えなきゃならないというようなことでありましたので、それが一つの、もう松崎から順天堂大学病院まで直通で乗り換え無しで行けるのが一番いいかなというような

ことで、当初あったんですけども、実証運行では、何度も乗り換えるのを1回乗り換えるだけで、実証運行で回そうというようなことを確か1年間やったかなと思います。

それはもうご存知だと思います。でもそれでもちょっとニーズがなかったなというような結果が出た、というようなでございます。

○5番（深澤 守君） 今総務課長が言ったの、これ認識が甘いんじゃないですか。この快速バスって、どこで停まると思います。調べました。調べてないですよ。

（○総務課長（高橋良延君） いや、当初はということ・・・）

いやだけど、そういう認識だと困るんで言ってるんですけど、これ長岡の・・・旧長岡の市役所停まるんですよ。それでタクシーで行けば、今までの状況と同じですので、ぜひその部分をしっかり調査し検討していただきたいというふうに思います。

これ回答いりません。

次にですね、町長は平成30年の9月の一般質問の回答で、『公約が果たせなかったときは辞任する』という回答しておりますが、今でもその考えにお変わりはございませんか。

○町長（長嶋精一君） どのような背景でそういうことを言ったかちゅうのは、僕は覚えてないんですけど、何の案件でしたか。ちょっと教えてください。

○5番（深澤 守君） いろいろな公約を果たしてない。ですから、町長は次に『辞任しますか』という質問だったと思います。

○町長（長嶋精一君） そんな私も軽はずみに辞任するなんてことは、言わなかったと思いますけれども、町長が公約することが、4年間で全てできるわけではないんですね。ただその、それについて向かって努力しなきゃならないと、そして町長も町会議員もやはり立候補したときは、公約をしてると思います。深澤議員の私は・・・、

（○5番（深澤 守君） あ・・・それおんなじ事聞きましたから良いです。）

いや、ちっと・・・

（○5番（深澤 守君） 議長、おんなじ事ですのでやめさせてください。）

深澤議員の・・・深澤議員の公約をここに持ってきてますけれどもね。

（○5番（深澤 守君） 議長）

（○議長（渡辺文彦君） 町長そこまでやらなくて結構です。）

いいですか。

（○5番（深澤 守君） おんなじ事何回もやらないでください、質問の中で。）

それでは、一つだけ同じことでないことを申し上げますけども、令和元年の6月に・・・令和元

年の6月に深澤議員は・・・

(議長が止めませんでしたか?)

(議長)

○5番(深澤 守君) それおかしいよ)

あの・・・あの・・・町会議員・・・町会議員もそれぞれの・・・

○5番(深澤 守君) やってます、やってます。やめてください。)

○議長(渡辺文彦君) 町長もう発言はそこでやめて・・・)

簡単に言わせてもらいたいですけど・・・

○議長(渡辺文彦君) じゃあ、、一言だけ簡単に・・・手短にお願いいたします。みなさんお静かに。)

花畑で例えるならば、耕して種を撒いて水を撒いて育てる、それをやっているというふう  
に、深澤議員はおっしゃってました。

私もまさにそのとおりでございます。

○5番(深澤 守君) はい。それでは、2番に移らせていただきます。

昨日の発言です。それに含めて質問させていただきます。

「独断専行はない。」議会と意思疎通はできているという発言であったが、昨日の回答で町長が何を言ったかという、「4人集まれば、議会被牛耳れる」「町の声を見做せる」と発言があったが、町長は町民向けに『議会としっかり話し合っているという意思疎通はできている』という一般質問であった。これ、町長の心の中に議会軽視・・・ですから、議会とのコミュニケーションが取れないと私は感じたんですが、いかがでしょうか。

あ、謝罪してないじゃんね。今日ね。どうなってるんです。

○議長(渡辺文彦君) ちょっと待って。

○町長(長嶋精一君) 議会被軽視してるっていうのは、ずっとその僕が町長になってから言われ続けてきましてね、それで不信任等が出されたわけですけども・・・。議会被軽視してるとか、そういったことは全くございません。全て報告をして、全協で・・・全員協議会でも、勉強会でも全て説明しております。独断専行できるのっていうことは、この・・・今の議会ではあり得ないことなんです。だから、何を言っても軽視してるっていうのか僕はわからないですけども・・・。でもこれからは・・・これからは、しっかりとですね、より丁寧にですね説明をしていきたいなとこのように考えております。

○5番(深澤 守君) ちょっと同じような質問になるんですけど、町長は議会の経験もある

んでね、このような議員必携っていうもの持ってると思うんですが、その中にですね、議会、議員の役割として・・・、ちょっと長くなりますけど、長くなるんでちょっと端折りますけど、議会は、役割ってというのは、『批判と監視』だっということを書いてあるわけですね。議員必携の中に。ですけど、町長は、我々が例えば少し意見を言えば批判だ、町政批判だ町長批判だと必ず言ってきます。必ず何かあげて意に沿わないことがあると議회를非難する。そのような状態の中で、正常な議会審議が行われると町長思われますか。

お答えください。

○町長（長嶋精一君） 私もその・・・議員に2年ちょっといて、議員必携はちゃんと読んでおります。当局の方から言った、いうことを聞かないと批判だ批判だということは、私の方は言ったことはありませんし非常に残念だなと思うんですけども・・・。

ただし、丁寧だね、丁寧に説明をしていきたいなと思います。

あの人があげた案件だからとおすと、あの人はちょっととおさないというようなことがあるとですね、私はいいことではないなと思っております。あくまでも客観的にね・・・、客観的に考えて判断をしていきたいなと。当然僕らの・・・我々の方も、真剣にね、丁寧に丁寧に説明はして行きますけれども、その点を一つよろしくお願いたしたいなと思います。

○5番（深澤 守君） 町長今の回答って失礼じゃないですか、我々町議が、何のために町議になったかっていうと、町民の皆さんを安心・・・町長が言う安心安全のまちづくり、皆さんが、もう本当に松崎に住んで良かったなと思えるまち作りをするために町議になってます。

それを、長嶋町長があげたから、気に入らないから、そんなことを思う町議っていませんよ。今の発言ってそうじゃないですか。その辺はちゃんと認識していただきたい。

私たちは、しっかりとこれが町民のためになるのか、町民のためにならないものかっていうのを真剣に審議して、可否を決めてるわけですから、そのような発言は僕はやめていただきたいと思います。

この件については回答ありません。次ですね。

議会で修正可決とか否決は、各課の課長及び職員とのコミュニケーション不足が原因で、政策の不備や行政手続きの不備があり、それを議会に諮られていることが原因だと思いますが、町長どのようにお考えでしょうか。

○議長（渡辺文彦君） （町長）質問の趣旨はわかりましたか。もう一度聞きますか。

○5番（深澤 守君） もしあれでしたら、不備もコミュニケーション不足もないっていうんだったらそれでいいです。

○町長（長嶋精一君） ちょっと言っている趣旨はわかりませんが、不備はございませんし、コミュニケーション不足もございません。

○5番（深澤 守君） 不備はないとおっしゃいますけど、岩科診療所の指定管理および規定を決めるときに撤回なさってますよね。あれは、不備ですよ、違います。

それと、いろいろな決定の段階で、課長等を話さず特定の人と話し合っているという話も伺っております。やはり、3人寄れば文殊の知恵じゃないですけど、ごく一部の人間で物事進めるよりも、面倒くさいですけどいろいろな人と話しあい、いろいろな人を巻き込んでやった方が楽だと思いますので、僕の意見がある程度、正当だと思うのであれば、これからやっていただきたいと思います。

これについての回答は要りません。

引き続き少し3番の質問についてお伺いしたいんですけど、ま、議長ちょっと関連質問でお伺いしたいんですけど、よろしいですか。

○議長（渡辺文彦君） もう一回何の関連ですか。

○5番（深澤 守君） 3番の質問について関連でお伺いしたいんですけど。

○議長（渡辺文彦君） はい、許可します。

○5番（深澤 守君） 昨日ですね、ワクチン接種の件で、町長は、えっと・・・あの課長と相談してると・・・、文章もらったり、時には打ち合わせ等やって報告を受けているという話をされてました。で、6月の議会では、その過程について私は言わなかったという回答を得てんですが、一体これどっちが正しいんでしょうか。

町長お答えください。

（○町長・・・）

町長止まらないでください、動いてください。町長に聞いてるんで。

○町長（長嶋精一君） どっちが正しいかっていうのは昨日ね、高柳議員の質問において、それについては申し上げたつもりですけど、高柳議員に説明した通りでございますので、私はここで二度と・・・二度三度と話をするのは止めたいと思います。

先ほど深澤議員も「昔言ったことは言わない」って言いました。それに倣います。

○5番（深澤 守君） 「昔言った話」って言いますが、これ、今この話が原因で、議会ぐちゃぐちゃになってるんですよ、それを昔の話ですみますかこれ。

（○町長 長嶋精一君 議長、議長）

（○議長 渡辺文彦君 ちょっと待ってください。）

町長・・・。

(○町長 長嶋精一君 いや、あの「昔」っていうのは、あなたが言ったことでしょう。)

町長、この出てる・・・これ原因作ったの町長のこの発言ですよ。それを踏まえて私は質問してる中で、昔の話だから俺が言ったことと同じで質問に答えないっていうのも・・・、町長それおかしいと思うんですけど・・・ちゃんと答えていただけますか。

(○1番 田中道源君 答えられないんじゃないですか。)

(○町長 長嶋精一君 昔と言ったのはね、先ほど私は、あなたの・・・)

(○5番 深澤 守君 詭弁はやめてください。ちゃんと答えてください。)

(○町長 長嶋精一君 やめてもらえますかしやべるの・・・)

あの、あなたがね、誰でもその・・・選挙に出るときは・・・)

(○5番 深澤 守君 その障りは関係ないじゃないですか。)

(○町長 長嶋精一君 公約があると、それについてどうですかって言ったら、もう前のことだから・・・)

(○5番 深澤 守君 答えてください。)

(○町長 長嶋精一君 もう何回も言ってるからということを引用しただけです。)

○町長 長嶋精一君 えっとその・・・ワクチン接種については、繰り返しますけれども、昨日田中議員の質問にしっかりと答えました。それから、健康福祉課長もしっかりと答えました。全くそのとおりでございまして、またあの・・・それについて、もっともってことであるならば、また別の方法でね、おやりになったらどうかなというふうに思います。

○5番(深澤 守君) 答えてください。どっちが正解なんですか。町長の答えをしっかりとらわないと、我々はこれについての回答が出ないんです。町長は、状態知ってますよね。今の議会の状態を。その原因を作ったのは、町長の発言なんですよこれ。しら・・・そのような経緯があったことを知らないっていう回答について我々は揉めてるんですよ。その責任は町長にありますよ。それなぜ答えないんですか。ということは、これはさっきの議会で嘘言ったって話ですか。

釈明ちゃんとしてくださいよこれ。それ町長の責務ですよこれ。

ごまかさないうで、町長ちゃんと説明してくださいこれ。この発言について・・・。

○議長(渡辺文彦君) あの深澤くん、質問の3番目の質問は、町政がお互いに内部で意見統一されてるかっていう質問だと思います。

(○5番 深澤 守君 違いますよ。3番目の質問してます。関連質問です。関連質問認めたくないですか。)

関連質問ですけれども、そういうことじゃないですか

(○5番 深澤 守君 認めたくないですか。)

そういう観点で昨日、総務課長の方からの答弁があったと僕は理解してるわけですけど・・・

(○5番 深澤 守君 今話してる答弁と違うじゃないですか。町長に答えさせてくださいよ。関連質問を認めたくないですか。)

町長お答えできますか。

○町長(長嶋精一君) 議長。

あの・・・私が、その問題の発言をしたというよりも、え・・・議員の鈴木議員ですか質問したのは、その質問があんまり・・・ちょっとおかしかったんじゃないでしょうか。

そこら辺を問題・・・

(○1番 田中道源君 問題すり替えてますよ)

(○議長 渡辺文彦君 ちょっと静かに・・・)

問題・・・また・・・あのね、ええと・・・ですから・・・

(○7番 藤井 要君 議長、動議、動議、ストップ、ストップ)

(○1番 田中道源君 質問に答えてないじゃないですか。)

(○5番 深澤 守君 あ、ちょっとやらして・・・)

(○1番 田中道源君 6月と今回と違うのかっていう・・・話じゃないですか。)

(○議長 渡辺文彦君 ちょっとそいじゃ、ちょっと止めましょうか。)

何、質問したんじゃないって・・・

(○議長 渡辺文彦君 ちょっと暫時休憩します。一回止めてください。)

(午前9時46分)

---

○議長(渡辺文彦君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前9時56分)

---

○町長(長嶋精一君) 昨日もお答えしましたとおりね、健育会からの話があって、それを我が松崎町で断ったという事実はありませんと答えました。そのとおりであります。

そして、鈴木議員から質問はあったときにそういう・・・健育会から『やりたいんだけどもどうだ』というときに『町の方が断った』と・・・『町の方は断った』と言っているけれども町長は知ってますかということだね。

それについては、私は、断った事実はないもので「それについては知りません」と言ったわけでありませぬ。

それ以上のことはないんですけども、どうしてそうやって揉めるかがちょっと理解に苦しむんだけど、これについてね、私は糸川課長も、それから鈴木議員も、だから質問者の深澤議員も皆さんと一緒にね、場所を変えてどんかいかでも説明しますからそういう点でいかがでございますか。

(○議長 渡辺文彦君 時間はどうします。)

○5番(深澤 守君) 延長願います。

町長その議論というのは、成り立たないんじゃないですか。これ最初にですな、医者をして・・・これ議事録確認取ってみればおわかりになると思いますけど、断ったということをして・・・断ったから、町長のミスではないか、怠慢ではないかっていう話をしてるとき「そのような経緯があったことは、私は残念ながら知りませんでした。」って回答してますよね。

その後質問状の話の中で、担当の方がきめ細かく計画を立ててそれを実行すると、不具合があったら出てくということ、この件に関しては我々・・・私は全然タッチしてないっていうことですよ。町長ね。

(○町長 長嶋精一君 タッチしてないって・・・)

(○議長 渡辺文彦君 ちょっと待って、ちょっと待ってください。)

これコロナの話ですよ、国県が一生懸命やって、松崎町もしっかり、町長が言う健康で安全なまち作りをするのであれば、やはりいろいろな話が出てきたときにも、この話だと、町長何も経緯について聞いてないってことで、全く聞いてないってことですよ。

それについて、ちょっと話が前後しますけど・・・、問題があるということで、

高柳議員(・・・ごめんなさい、今の話ね。固有名詞を削除してください。)

ある議員が、それは人に誤解を招くということで、載せないでくれっていうことが言われてるわけですよ。問題があるから、削除してくれっていうてきた訳でしょ広報委員会に。それを今になってワクチンがどうのこうのっていう発言の理由になりますか。町長。

ここにも書いてありますよね、町長の発言が。違いますか。問題なかったらこんなの出しますか。基本的にこの問題ってのは、発端はこの町長の発言ですよ。

そんな軽い発言をするなら、ぜこんなに我々議会、問題視してもめるんですか。これ言ったことは事実でしょこれ。その後に、町長は「全部知ってた」・・・発言合わないじゃないですか。違います。

回答ください。

○町長（長嶋精一君） トータルで考えてもらいたいんですけども、このコロナワクチンをやるといことについては、何回も言いますけども、2人しかお医者さんがいない中で大変な思いをしてやっておりました。そして今現状はね、他の市町と劣ることなくスムーズに進んでいるということは事実であります。

したがって、私は、こういうコロナというときにね、あのこの問題が、このような形で出てくるということに対しては、甚だ私は残念であります。おそらく、静岡県の市町でも、このようなことでこういう質問なりが出てくるっていうのは、我が松崎町だけではないかと。

（その新聞（町議会日誌：町議発行）が恥ずかしいよ。）

このように思っております。

○5番（深澤 守君） 町長、なんかいつもですね、都合が悪くなるとそういってごまかす。そして我々を非難する。回答になってないですよ。最近石破さんが何を言ったか『嘘をつかない政治、ごまかさない政治、私は目指す』そういうふうに言っておりました。

町長にすっごく胸の痛い話じゃないかと思っております。

今もごまかしてますよね。私はどっちが正解なんだって聞いてます。

ワクチンが・・・、ワクチン接種、皆様が努力したのはわかっています。お医者さんがいないのであれば、八方手を尽くして、最初の段階からいろいろなところに頼む。当たり前じゃないですか。それが町長の目指す『安心安全なまちづくり』、町民が喜んでもらう政策それを、なんですか「医者が2人しかいないから、市町の他よりも悪い」、それを非難すれば、「なんだこんな町は、お前ら」、それで町議を非難する。そんなこと言う町長ってまずいなと思います。これ以上議論しても仕方がないんで、仕方がないって言うともた怒られてしまうので、この辺で締めさせていただきますが・・・。

まとめさせていただきます。

今年度町長が任期満了になります。中国の故事で、虎は死して皮を残し、人は死して名を残すといひます。町長は一時期、日本で最上位に格付けされた銀行の常務までされ、松崎の町長に就任されました。このままの状態では2期目を務めると、晩節を汚すことになります。今松崎で、町長が言われる『安心安全なまちづくり』『防災に強いまちづくり』を実現するの

であれば、ぜひ、町長のご盟友の菅総理も、任期いっぱいコロナ対策を行い、潔く勇退されるそうです。

町長も、菅総理を見習って勇退をおすすめします。

以上、一般質問を終わらせていただきます。

○議長（渡辺文彦君） 以上で深沢守くんの一般質問を終わります。

暫時休憩いたします。

10時15分まで休憩といたします。

（午前10時4分）

---